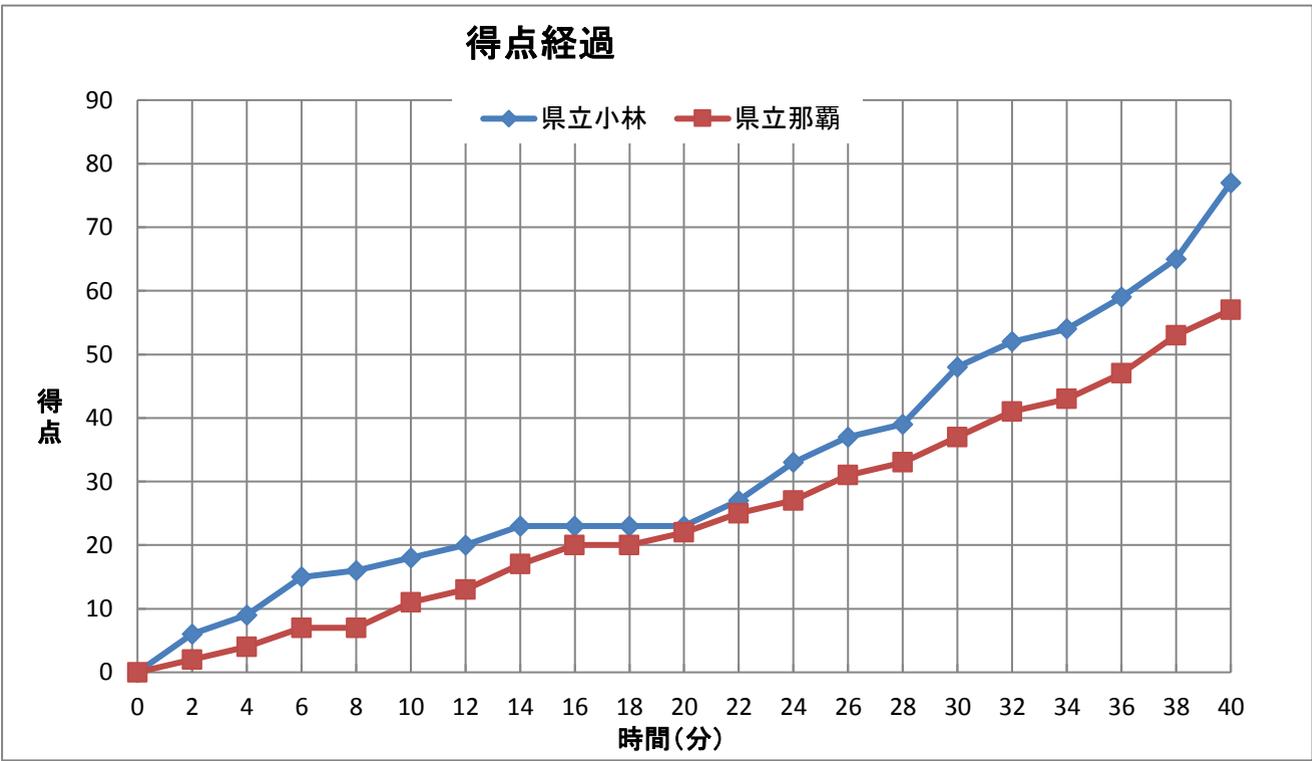




平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女子		平成28年8月1日		12:50 開始													
2回戦		広島サンプラザ		B													
◎ 県立小林		77		57 県立那覇													
(宮崎県)		<table border="1"> <tr><td>18</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>5</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>25</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>29</td><td>4th</td><td>20</td></tr> </table>		18	1st	11	5	2nd	11	25	3rd	15	29	4th	20	(沖縄県)	
18	1st	11															
5	2nd	11															
25	3rd	15															
29	4th	20															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	伊達 蓮	1	0	0	1	0	4	山川 美紅	2	0	1	0	3				
5	成崎 晶	9	1	2	2	3	5	高野 真由	9	0	1	7	3				
* 6	岩切 満梨乃	8	0	3	2	4	6	諸見田 ひかり	15	1	5	2	4				
* 7	加治屋 千遥	28	0	11	6	2	7	石垣 梨里香	8	0	3	2	0				
* 8	板井 朋絵	15	5	0	0	2	* 8	前新屋 愛美	0	0	0	0	1				
9	中村 有希	5	1	1	0	0	* 9	金城 みゆ	14	0	5	4	4				
10	永友 ひなた	4	0	2	0	5	* 10	仲宗根 悠	0	0	0	0	1				
11	井ノ口 なな子	0	0	0	0	0	* 11	瀬長 杏南	2	0	1	0	2				
12	成崎 結	0	0	0	0	0	* 12	亀田 みすず	3	0	1	1	0				
* 13	飯隈 愛理	7	0	3	1	2	13	東江 早紀	-	-	-	-	-				
14	佐藤 優来	0	0	0	0	0	14	屋田 あさひ	0	0	0	0	0				
15	下之菌 真心	0	0	0	0	1	15	糸数 友都子	4	0	2	0	0				
コーチ	前村 かおり					0	コーチ	屋嘉 謙吾					0				
Aコーチ	海江田 早紀						Aコーチ	新垣 隆									
合計		77	7	22	12	19	合計		57	1	19	16	18				
主審:		平原 勇次															
副審:		斉藤 嶺															



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	14:01	18:23	24:28	:	:	:	:	:
TeamB	4:50	:	23:30	32:31	37:43	:	:	:

〔戦評〕
 スタート、小林#4、6、7、8、13 那覇#8、9、10、11、12
 第1P、小林はハーフコートマンツーマン、那覇はハーフコート2-3ゾーンでゲーム開始。小林はポストでのプレーを封じ込められるが、#8が3連続3Pでリードを奪う。さらに速攻からの#7のシュートで11対4と7点リードし那覇がタイムアウトを請求。那覇はマンツーマンディフェンスに切り替え粘り強く守るも、かたさが残り思うようにプレーすることができない。18対11と小林が7点リードで第1P終了。
 第2P、硬さの残る那覇は苦しい時間帯が続くが、小林#7#14のポストプレーをチームディフェンスで粘り強く守る。ディフェンスからリズムをつくり、残り6分、那覇はフリースローそして速攻からのシュートを決め、一気に流れを持っていく。すかさず小林はタイムアウトを取るが、そのまま那覇がペースをつかみ、23対22と1点差に追いつき第2P終了。
 第3P、開始早々、那覇#9のドライブインからファウルをもらいフリースローを決め同点に追いつく。このまま逆転したい那覇であったが、小林は力強くルーズボールをものにし#8の3P、#13のバスケットカウントにより33対25と再び点差を広げる。残り5分、小林#13がけがによりベンチに下がるも着実に内外で得点を重ね、48対37と11点差で第3P終了。
 第4P、那覇は粘りとスピードで、オフェンスの動きを読みパスカットを狙いチャンスをつくる。対する小林は、ディフェンスをハーフコート2-1-2に変え那覇を苦しめる。さらに小林#7のシュートが立て続けに決まりさらにリードを奪う。小林#7の高さに劣らず、那覇#5#11はリバウンドを制し粘りを見せるも、77対57で第4P終了。小林が3回戦に駒を進める。

戦評: 上田 楓子 記録: 県立広島高校